

第1回 札幌駅交通ターミナル検討会 議事概要

1. 日 時 令和2年1月29日（水）13時00分～14時30分
2. 場 所 TKP札幌駅カンファレンスセンター3階カンファレンスルーム
3. 出席者 別紙のとおり
4. 議 事
 - (1) 挨拶
 - (2) 審議
 - ・規約（案）を了承する。
 - ・高野委員を本検討会の座長とする。
 - ・「検討会の設置について」「北5西1・西2地区再開発の経緯」「近年のバスターミナル整備の事例紹介」「札幌駅交通ターミナル整備の方向性・コンセプト」「今後の検討課題とスケジュール」について、事務局等より説明し、今後、事業計画の策定に向けて検討を進めることを確認。

【 委員からの主な発言 】

- (1) 検討会の設置について
 - ・規約（案）を了承する。
- (2) 北5西1・西2地区再開発の経緯
 - ・新幹線改札口を3階への計画変更することで、1階の交通広場機能が確保されたのは望ましい一方で、新幹線利用者の上下移動が多い点をどのようにカバーしていくか今後検討が必要。
- (3) 近年のバスターミナル整備の事例紹介
 - ・品川の事例では「次世代型交通ターミナル」というコンセプトを掲げており、整備目標も比較的近い年次であるため、参考にすべき。
- (4) 札幌駅交通ターミナル整備の方向性・コンセプト
 - ・札幌駅交通ターミナルは都市内のみならず、全道の玄関口として、エアラインとの連携も視野にいれて検討を進めるべき。
- (5) 今後の検討課題とスケジュール
 - ・新たなモビリティが利用できる空間をあらかじめ確保しておくという視点も重要。
 - ・案内機能はアプリだけでなく、対面で一元的に行える機能を備えるという点も重要。
 - ・ユニバーサルデザインという視点では、オリパラ招致を見据えた外国人への対応や冬期の視点も踏まえた検討が必要。

- ・ 施工中は利用者への不便をなるべくかけないような施工方法や丁寧な情報提供が必要。
- ・ 他の再開発もある中で、将来の施設周辺の交通をどのようにさばっていくか検討が必要。

以上

第1回 札幌駅交通ターミナル検討会 出席者名簿

(敬称略)

区分	氏名	所属等
有識者	高野 伸栄	北海道大学 公共政策学連携研究部 教授
	岸 邦宏	北海道大学大学院 工学研究院 准教授
交通事業者等	三木 正之	北海道旅客鉄道(株) 総合企画本部 地域計画部長
	中嶋 雅之	札幌駅総合開発(株) JRタワー再整備推進本部 計画部長
	三戸部 正行	一般社団法人北海道バス協会 常務理事
行政機関	本田 肇	国土交通省 北海道開発局 建設部 道路計画課 道路企画官
	福原 英之	国土交通省 北海道開発局 事業振興部 都市住宅課 都市事業管理官
	村上 睦	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 次長
	樋口 康弘	国土交通省 北海道運輸局 交通政策部 計画調整官
	久原 賢一	国土交通省 北海道運輸局 自動車交通部 旅客第一課長
	大須賀 康高	北海道 総合政策部交通政策局 交通・物流担当課長
	坪田 靖	札幌市 まちづくり政策局 総合交通計画部長
	高橋 秀士	札幌市 まちづくり政策局 都心まちづくり推進室 札幌駅交流拠点推進担当部長

(事務局) 国土交通省 北海道開発局 建設部 道路計画課
国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 都市圏道路計画課
札幌市 まちづくり政策局 総合交通計画部 交通計画課